



2019年6月19日

各位

会社名 イワキ株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩城 慶太郎
(コード番号 8095 東証第1部)
問合せ先 取締役経理財務部長 熱海 正昭
(TEL. 03-3279-0481)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年1月11日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2019年11月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(2018年12月1日～2019年5月31日)
(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	31,000	860	900	650	20円05銭
今回修正予想(B)	31,000	1,250	1,320	870	26円83銭
増減額(B-A)	0	390	420	220	—
増減率(%)	0.0	45.3	46.7	33.8	—
(ご参考)前期実績 (2018年11月期第2四半期)	29,024	857	910	617	19円13銭

修正の理由

(第2四半期連結累計期間)

当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高はほぼ当初予算通りとなる見込みですが、利益面においては医薬FC事業において高薬価品の製造量増加、自社原料、電子・機能性材料や主力商品の販売伸長が大きく寄与いたしました。また、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、利益面が好調だったことに加え、販売費及び一般管理費のうち研究開発費、広告宣伝費等が当初予算を下回ったことや一部の経費が下半期にずれ込んだ事などにより、前回予想値を上回る見込みであります。

(通期)

2019年11月期通期連結業績予想ですが、医薬品・化粧品事業及び半導体関連事業につきましては下期も堅調に推移する見込みであるものの、本年10月に実施が予定されている薬価改定及び消費税増税による影響、米中通商問題に起因するエレクトロニクス市場等の不透明さなど不確定要素も多いことから、現時点において2019年1月11日に公表した数値を据え置いております。今後、下期の動向等を精査し、業績予想の修正が必要な場合は、速やかに開示を行います。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想値と異なる可能性があります。

以上